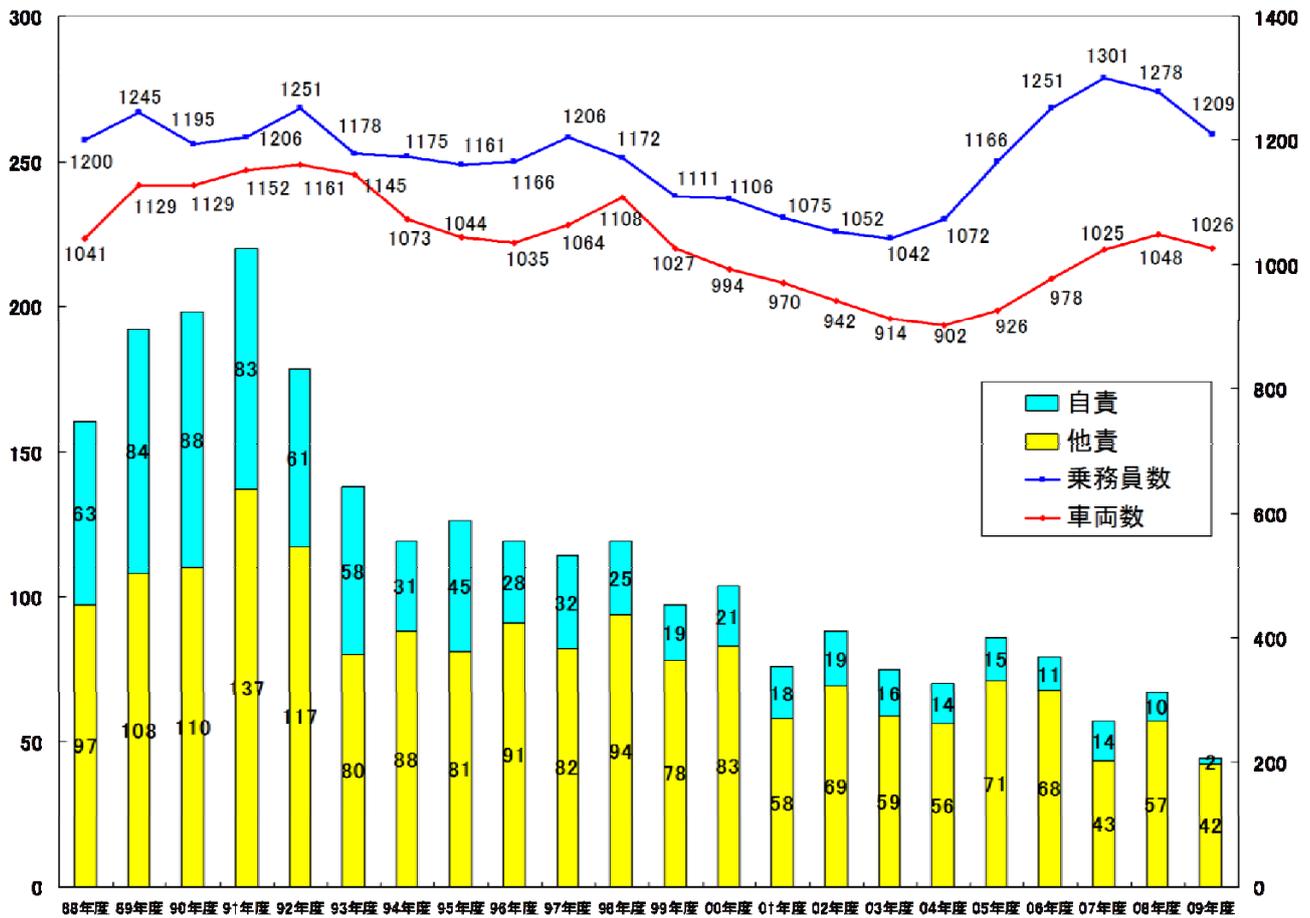


業 種	自動車（トラック）
取組分野	社内情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	自ら考え行動するグループ会議活動の取組み
取組の狙い	グループ会議活動を通じて、職場モラルやチームワーク、働きがいの向上、知識・技能の向上、安全意識、サービスの向上等を図り、自主的自発的に「やる気」で問題の解決を図り、安全文化を醸成
具体的内容	<p>1. 会社の成長とともに従業員が増加する中、社内のコミュニケーション不足から安全意識等が希薄になり、事故も多発していたが、約 20 年前からグループ会議活動の取組みを実施し、職場や作業に潜む危険等を発見、把握、解決して事故防止に努めた結果、当該活動が定着してきた平成 6 年から事故を減少させている。また平成 17 年 5 月には会議の進め方（マニュアル）を作成し、活動を推進している。</p> <p>（概要）① 月別重点推進目標（テーマ）の策定  ② 危険予知トレーニングの実施  ③ 事件事例の分析、再発防止策の検討、水平展開活動  ④ ヒヤリハット体験の検討  ⑤ 職場における問題等の討議 等</p> <p>2. 全ドライバー約 1,200 人を 7～10 人単位でグループ編成し（勤務交代を考慮した編成）、グループ長等役割を定め、グループ活動（小集団）実施要領を作成し、毎月約 120 のグループで積極的に取組みを実施している。</p> <p>また、グループ活動を支援するため、四半期ごとに事故等（軽微なものを含む）が少なかったグループを表彰する表彰制度やグループ長が自由に会議の招集出来る環境整備などを実施し、会社全体で活動をサポートする体制を整えている。</p> <p>3. グループ会議活動を通じ、グループ員が危険予知訓練レポート、事故分析レポート、事故分析報告書（特性要因図）を用いた解析、再発防止策の検討等を実施できるまで練度が向上するとともに、意識の向上により、積極的にヒヤリハット体験が収集され、事故防止に寄与している。</p>
取組の効果	グループ員全員が安全に対する意識の高揚と連帯感が高まるとともに、それまで毎年 50 件以上の交通事故が発生していたが、平成 6 年からは当該取組みが定着し、事故が年々減少し、平成 21 年度では、自責事故（過失 30%超）は人身 1 件、物損 0 件と激減した。
事業者名	カリツー株式会社 安全品質管理部 安全品質教育課 （連絡先 0566-75-6115）



年度	事故1件当りの走行距離 (km)			走行距離1億km当りの事故件数 (件)			車両数1台当りの事故率 (%)		
	自責	他責	合計	自責	他責	合計	自責	他責	合計
1988年度	0	0	0	0	0	0	6.1%	9.3%	15.4%
1989年度	0	0	0	0	0	0	7.4%	9.6%	17.0%
1990年度	913,897km	731,118km	406,176km	109.4件	136.8件	246.2件	7.8%	9.7%	17.5%
1991年度	1,017,842km	616,649km	384,004km	98.2件	162.2件	260.4件	7.2%	11.9%	19.1%
1992年度	1,425,891km	743,413km	488,648km	70.1件	134.5件	204.6件	5.3%	10.1%	15.3%
1993年度	1,385,816km	1,004,716km	582,444km	72.2件	99.5件	171.7件	5.1%	7.0%	12.1%
1994年度	2,611,247km	919,871km	680,241km	38.3件	108.7件	147.0件	2.9%	8.2%	11.1%
1995年度	1,732,556km	962,531km	618,770km	57.7件	103.9件	161.6件	4.3%	7.8%	12.1%
1996年度	2,181,263km	671,158km	513,238km	45.8件	149.0件	194.8件	2.7%	8.8%	11.5%
1997年度	2,163,735km	844,385km	607,364km	46.2件	118.4件	164.6件	3.0%	7.7%	10.7%
1998年度	2,791,803km	742,501km	586,513km	35.8件	134.7件	170.5件	2.3%	8.5%	10.7%
1999年度	3,546,594km	863,914km	694,694km	28.2件	115.8件	143.9件	1.9%	7.6%	9.4%
2000年度	2,950,618km	746,542km	595,798km	33.9件	134.0件	167.8件	2.1%	8.4%	10.5%
2001年度	3,283,142km	1,018,906km	777,586km	30.5件	98.1件	128.6件	1.9%	6.0%	7.8%
2002年度	3,052,294km	840,487km	659,018km	32.8件	119.0件	151.7件	2.0%	7.3%	9.3%
2003年度	3,442,166km	933,469km	734,329km	29.1件	107.1件	136.2件	1.8%	6.5%	8.2%
2004年度	3,811,559km	952,890km	762,312km	26.2件	104.9件	131.2件	1.6%	6.2%	7.8%
2005年度	3,527,509km	745,248km	615,263km	28.3件	134.2件	162.5件	1.6%	7.7%	9.3%
2006年度	5,065,280km	819,383km	705,292km	19.7件	122.0件	141.8件	1.1%	7.0%	8.1%
2007年度	4,133,113km	1,345,665km	1,015,151km	24.2件	74.3件	98.5件	1.4%	4.2%	5.6%
2008年度	5,847,648km	1,025,903km	872,783km	17.1件	97.5件	114.6件	1.0%	5.4%	6.4%
2009年度	26,183,259km	1,246,822km	1,190,148km	3.8件	80.2件	84.0件	0.2%	4.1%	4.3%

## グループ（小集団）活動の実施要領

### 1. グループ活動プロセスと要点

- |   |                                 |               |   |
|---|---------------------------------|---------------|---|
| ① | アドバイザー（助言者）の挨拶と訓練               | (20分)<br>→    | 今期のテーマや安全運転・作業・事故事例などについての訓示リーダーの選出   |
| ② | リーダーの挨拶                         | (3分)<br>→     | 簡単な挨拶とグループ活動の協力を求める。<br>板書係・記録係・ポスター係・接待係の選出                                  |
| ③ | 企業理念の唱和                         | (2分)<br>→     | メンバー全員が起立して三つの誓いを唱和する。<br>(リーダーが調子をとる)  |
| ④ | 月別重点推進目標について討議                  | (40～45分)<br>→ | 月別重点推進目標に対して提案されている意見発表を求めながら、討議をすすめて、グループの実践目標を決める。                          |
| ⑤ | 全般的な安全・サービス提案<br>その他についての討議     | (40～60分)<br>→ | 月別重点推進目標以外の安全運転・作業に関する提案を各自に渡して意見発表を求め、討議する。                                  |
| ⑥ | 記録係によるグループ活動の<br>討議報告とグループ目標の確認 | (5分)<br>→     | グループ活動の主な討議事項の概要報告とグループ目標の確認を行う。(確認と発表は記録係が行う)                                |
| ⑦ | ポスター係によって<br>ポスター草案を検討          | (5分)<br>→     | グループ実践目標に基づきポスターを作成<br>(草案だけを決め、後日、ポスター係が作成する。)                               |
| ⑧ | リーダーの挨拶                         | (2分)<br>→     | グループ活動の協力に対し、お礼を述べ、グループ実践目標を実践するよう指示する。                                       |
| ⑨ | アドバイザーのまとめ                      | (3分)<br>→     | グループ活動状況、討議内容、その他についてまとめの言葉を述べる。<br>(チーム行動目標を発表しタッチアンドコールを行い0災で行こう。ヨシ！で締めくくる) |

- (注) (1) グループ活動時間は、2時間から2時間30分程度を目安に効果的に行う。  
 (2) 接待係は、集合時間の厳守に努力する。  
 (3) アドバイザーは訓示内容をまとめておく。  
 (4) 危険予知トレーニングは、グループ活動が終了したら回収して、アドバイザーが保管する。  
 (5) 記録係は「グループ会議報告書」を作成する。  
 (6) ポスター係は時間の都合で草案だけをまとめておいて、後日、作成しアドバイザーに提出。  
 (7) アドバイザーはグループ掲示板に表示する。